

Fig. 2 アプレピタント投与延長による悪心・嘔吐改善効果の費用対効果

$$\text{増分費用対効果} = \frac{\text{費用の増加}}{\text{効果の増加}}$$

種々の条件を変えて  
シュミレーション

設定した閾値 {今回は500万円/年(約16,500円/日)}  
に対してどちらの対策が優れているかを示す

